

学級開きで担任が伝えることリスト（3年生編）

★姿勢を正す

○「周囲に配慮して生活することの大切さ」

- これからの1年は、集団の力がとても重要になる。
- 6月には中総体があり、見事上位大会進出を決めた人がいる一方で、残念ながら引退を迎える人もいる。
- 10月には早々に志望校の内定を決め、高校の活動に参加し始める人と、自分の進みたい道がなかなか見つからなかったり、あるいは家族と意見が合わなかったり、努力した成果がなかなか現れなかったりなど、不安や焦りを抱えながら生活している人もいる。
- 年が明けると、ギリギリのラインでチャレンジ受験をする人や、すでに志望校に合格した人、努力したもののそれが叶わなかった人がいる。
- このように、これからの1年間は、様々な立場の人が混在しながら共に生活していくことになる。
- その時、自分がどんな立場で、どんな立ち振る舞いをする？
- 「部活で使う物を床に置きっぱなし」「内定したから授業は適当に受ける」「週末遊びに行く話を大声でする」「勉強がうまく進まないイライラを他人にぶつける」など自分のことしか考えていない発言や行動は、集団生活における安心感を損ない、かつ自分自身への信頼や人間関係などにも悪影響を与える可能性がある。
- そうした意味で、普段の言動や授業を受ける態度はもちろん、感染症対策や提出物の期日厳守なども含め、「受験は団体戦」であることを正しく理解してほしい。
- 「自分1人で生活しているわけではなく、みんなと一緒に生活している」という他者の存在に気付く視点と、普段から互いに支え合い、励まし合える教室の環境づくりを大切にしながら、全員でこの1年を乗り越えていきたい。

○「担任としての覚悟を示す」

- これからの生活の中で、時には失敗をして私に注意されることがあるかもしれない。
- 特に、意図的に周りへ迷惑をかけたり、誰かを傷つけたりするようなことがあれば、私は本気で指導する。
- その時は素直に反省し、同じ失敗を繰り返さないようにすればいい。
- 私は今後どんなことがあっても、担任として最後までみなさんを見守り、関わり続けていく。
- 1年後、ここにいる全員が自分の成長を実感し、笑顔で卒業式を迎えることができるよう、心から応援している。